

(臨床研究に関する公開情報)

江南厚生病院では、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究にカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名]

緩和ケアチーム介入患者への栄養管理における問題点

[研究責任者]

江南厚生病院 栄養管理室 小池直也

[研究の概要]

がん患者さんの低栄養・体重減少は通常よく認められる病態であり、不良な予後と関連しています。その病態は「がん関連性低栄養」と「がん誘発性低栄養」に分類され、病態の進行に伴い相乗的に栄養状態を悪化させる事が知られています。前者はがん自体の症状や治療の副作用によるもので、十分な栄養補充を行うことで維持・改善が可能です。一方、後者はがんに伴う全身性のエネルギー代謝異常に起因するもので、通常の栄養管理では改善することが困難です。「がん関連性低栄養」への対策として、早期栄養管理が有効である可能性が指摘されており、当院では、管理栄養士が緩和ケアチームに参加し、多職種連携による個別での栄養・食事支援を実施しています。しかし、両者を厳密に区別する事は難しいため、予後予測の活用など多職種でアセスメントを実施し、画一的な栄養管理とならにようにする事が重要です。そこで、当院の緩和ケアチームで支援を行った患者さんの予後と栄養管理の実態を調査し、今後の栄養介入や多職種連携の在り方について検討を行います。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

2020 年 4 月 1 日から 2021 年 3 月 31 日までの期間中に、当院緩和ケアチームが介入し、その後、緩和ケア病棟で死亡した患者さん。

●利用するカルテ情報

年齢、性別、がん種、緩和ケアチーム介入日、PPI（Palliative Prognostic Index）、血液検査データ、緩和ケア病棟入院日、在院日数、死亡日、食種・食事内容・摂食量・経口栄養量、非経口的栄養投与方法、使用輸液・経腸栄養剤、等

[個人情報の取扱い]

この研究では、お名前、住所など、患者さんの直接特定できる個人情報は使用しません。研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[問い合わせ先]

●研究責任者：江南厚生病院 栄養管理室 小池直也

電話 0587-51-3333 FAX 0587-51-3312